訓練課題（実技）

訓練課題（実技）

「軸組・小屋組部材加工」

|  |
| --- |
| 注意事項  １：作業時間  標準時間 240分（4時間）  （標準時間のうち、100分は、木づくり・墨付けの標準時間とする。）  打ち切り時間 270分（4時間30分）  ２：支給材料  角材 1500×90×90 … 1本  500×90×90 … 1本  釘 N65 … 2本　N75 … 2本  ３：課題作成、提出方法  ・安全作業を心掛けること  ・垂木は、木づくり及び墨付け終了後に提出し、検査（評価）を受けること。  ・作業修了後、手を挙げて知らせること |

|  |
| --- |
| 実技課題「軸組・小屋組部材加工」 |

【訓練課題】

以下の課題図及び仕様に従い、支給材料に墨付け、加工、組立を行い、軸組模型の課題を作成しなさい。その後、完成した課題の全体寸法及び仕口の精度を確認しなさい。

【作業時間】

標準時間 240分（4時間）

（標準時間のうち、100分は、木づくり・墨付けの標準時間とする。）

打ち切り時間 270分（4時間30分）

【課題図】



評価確認テスト　課題図

【仕様】

作業手順

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 木づくり  (垂木のみ) |  | 墨付け |  | 加工  組立て |  | |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | 垂木の提出・検査 | | |  | 提出 |

（１）木づくり

* 垂木の仕上がり寸法は、「35×45（幅×成）」である。
* かんな仕上げは、中しこ仕上げとする。
* 糸面取りをすること。

（２）墨付け

* 加工組立てに必要な墨は、すべて付けること。
* 桁には、上端及び下端の芯墨、梁との取り合い墨を入れること。  
  なお、梁との取り合いは、「大入れ蟻掛け」とすること。
* 柱には、4面に芯墨を入れること。
* 柱には、梁の穴墨（打ち抜きほぞ30ｍｍ）を入れること。
* 梁には、上端及び下端の芯墨、桁との取り合い墨を入れること。
* 母屋は、上端及び下端の芯墨、柱との取り合い墨をいれること。
* 垂木は、上端及び下端の芯墨、桁芯墨を入れること。

（３）加工組立て

* 加工組立ての順序は、任意とする。  
  ただし、支給材料（1500mm）は、穴あけ作業終了後、柱・桁・梁・母屋・飼木（ねこ）に切り分けること。
* 穴あけ作業は、機械（ドリル、角のみ等）を使用する。
* 加工組立て及び各所の取り合いは、課題図に示すとおりに行う。
* ほぞ穴の寸法は、30×60mmとすること。また、ほぞ穴の幅は30mmを基本とする。
* 小根ほぞ差しの小根寸法は、梁成の半分とし、深さは30mmとすること。
* 柱ほぞの長さは、母屋成の半分とすること。
* 飼木（ねこ）は、課題図のとおり2本の釘で固定すること。

（４）作品は課題図のとおり、くぎ止めし、組み上がった状態で提出すること。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 支給材料 | | | | （単位：mm） |
| 番号 | 品名 | 寸法又は規格 | 数量 | 備考 |
| 1 | 柱 | 400×90×90 | 1 | 杉、松等 |
| 2 | 桁 | 200×90×90 | 1 | 杉、松等 |
| 3 | 梁 | 400×90×90 | 1 | 杉、松等 |
| 4 | 母屋 | 200×90×90 | 1 | 杉、松等 |
| 5 | 垂木 | 500×36×46 | 1 | 松、杉等 |
| 6 | 飼木（ねこ） | 200×90×90 | 1 | 杉、松等 |
| 7 | 釘 | N65 | 2 | 飼木（ねこ）用 |
| 8 | 釘 | N75 | 2 | 垂木用 |
| ただし、配布は | | 角材 1500×90×90 1本 | | |
|  | | 500×36×46 1本　　とする。 | | |
|  | | （穴あけ作業は長い材料のまました方が安全上よい） | | |

【課題の作成例】



